
2012年上海市社会経済発展目標

岡山県上海事務所 池田 稔

(日中経済貿易センター上海事務所 所長)

政府活動報告

2011年は上海にとっても大きな成長の一年であるとともに、変化の一年でもありました。上海市商務委員会は報告会を開催し、次のとおり2012年の上海の発展に向けた社会経済発展の目標を発表しました。

【2012年上海市経済社会の発展基本目標、ビジネスに対する基本方針】

- 1 対外開放の堅持、拡大
 - ・機能性プラットフォームと各種輸出基地建設の推進
 - ・港の対外開放の拡大
 - ・外資導入の構造改善
- 2 上海国際貿易センター建設の加速
 - ・上海市と商務部などの関係機関の協力を得て国際貿易センターとしてのプラットフォーム建設を推進
 - ・展示会、会議を発展させる
 - ・国際技術貿易促進のセンターとして、技術貿易を発展させる
 - ・中国(上海)ネット国際貿易センターを建設し、ビジネス情報、貿易促進のゲートとなる大宗商品取引のプラットフォームを建設し、国内外への影響力を高める
- 3 全国の先行テストケースのチャンスを掴む
 - ・営業から増値税への転換
 - ・現代サービス業総合テストケース
 - ・外高橋保税區機能の拡大
 - ・国家電子ビジネスモデル都市建設
- 4 上海ビジネス環境の構築
 - ・投資手続きの簡便化
 - ・外商投資企業の契約書、定款フォーム化審査のテスト
 - ・良好な市場環境整備維持
 - ・外商投資企業のクレームサービスセンター機能の強化
 - ・各所有制企業に対する平等政策の実施
- 5 経済に対する消費の牽引力を強化
 - ・新しい消費モデルの構築
 - ・新しい商業技術、業態の構築
 - ・新しい経営モデルの構築

- ・流通ネットワークの健全化
- ・商業計画の実行
- ・現代ビジネス機能区の建設
- ・郊外衛星都市の商業ネットワーク建設
- ・都市配送物流サービスの構築

【2011年実績】

GDP

19,195.69 億元	(前年比 8.2%増)
内、第三次産業	11,111.06 億元 (前年比 9.5%増、全体の 57.9%)
一人当たりの GDP	82,560 元 (北京を超えて全国首位)

対外貿易

輸出入総額	4,374.36 億ドル (対前年 18.6%増)
輸入総額	2,276.47 億ドル (対前年 21.0%増)
内、外資企業	1,499.36 億ドル (シェア 65.8%)
輸出総額	2,097.89 億ドル (対前年 16.0%増)
内、外資企業	1,424.43 億ドル (シェア 67.8%)

外商直接投資受入

契約件数	4,329 件 (対前年 10.8%増)
内、第二次産業	262 件 (対前年 29.6%減)
第三次産業	4,057 件 (対前年 15.6%増)
金額(実行ベース)	126.01 億ドル (対前年 13.3%増)

ポイント～上海事務所の視点～

上海市では経済の構造が第二次産業から第三次産業へと重点が移っています。ここ数年で GDP に占める第三次産業の割合は第二次産業を上回り、海外からの投資導入も第三次産業が圧倒的に増えてきました。昨年、上海に設立された外資企業は 4,329 社（その内、日本企業 645 社）ですが、その内 4057 社がサービス業でした。全国的に見ても海外からの投資は、昨年は初めてサービス業が製造業を上回りました。

世界各企業が「世界の工場 中国」から「世界の市場 中国」に認識を改め、その市場の中心・上海に拠点を設立し、市場開拓を進めているのです。外資の投資する業種は製造業から、サービス業に変わり、BtoB 型から BtoC 型に変わりつつあります。

当事務所が、上海での会社設立の相談を受け、実際に会社設立手続きを行う業種もサービス業がほとんどで、昨年 2011 年はレンタル業、展示会店舗などの内装業、住宅内装業、そして各種貿易会社等の設立に協力しました。今後もこの傾向は続くでしょう。

現在、上海市は既存の外資利用と経済構造の優位性をさらに発揮し、経済を活性化させるため、四つの中心建設（センター化）を進めています。四つの中心とは「国際経済中心」、「国際金融中心」、「国際航運(物流)中心」、「国際貿易中心」です。これらの経済のプラットフォーム建設、整備を進め

るために、2012年の具体化方案を作成しました。その中にはこれらの分野での外資導入を更に進めるような具体案も含まれています。上海が求め、整備を進め、誘致しようとする第三次産業、サービス業は、日本企業にとって経験、ノウハウが生かせる分野の一つでしょう。上海市場と上海から中国全体への波及効果を確認したいものです。

(2012年3月)